

中小企業景況調査

(令和5年7月～9月期)

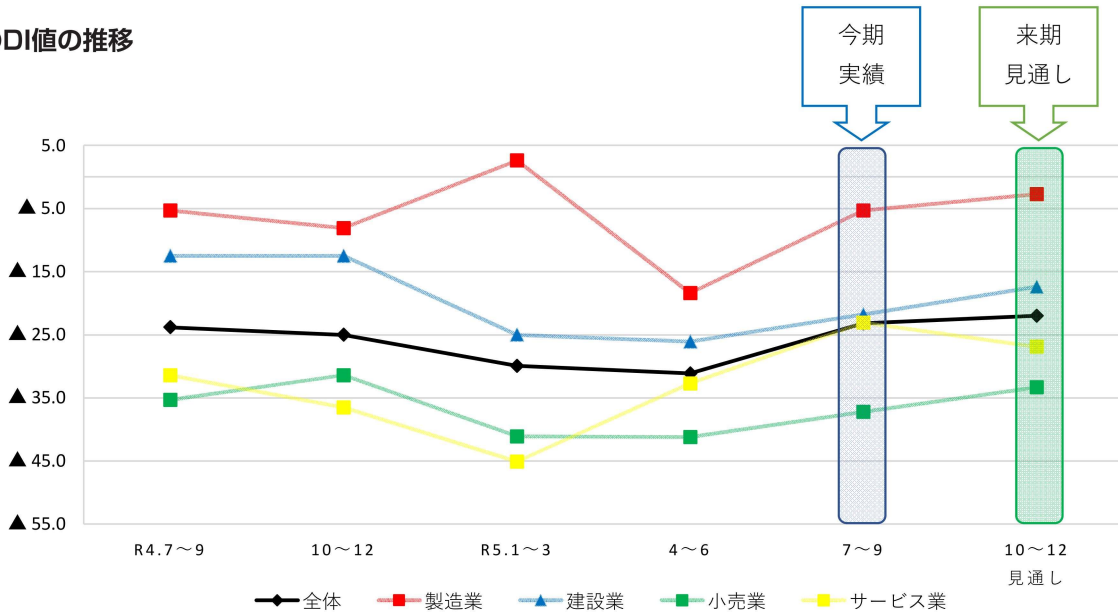
対象企業数：県内13商工会地区165企業

回答企業数：165企業（回答率100.0%）

●業界全体の業況

業界全体の業況については、前期（令和5年4～6月期）▲31.1に比べ今期は▲23.2とゆるやかながら改善傾向がみられます。来期（令和5年10～12月期）は▲22.0となり、先行きの見通しは不透明で足踏み状態が続くと考えられます。

●業況のDI値の推移



●景気動向天気図（前年同期比）

項目	売上額	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
全体	▲17.0	68.7	▲40.2	▲19.8	▲1.4	▲23.2
製造業	▲7.8	72.2	▲21.0	0.0	2.8	▲5.3
建設業	4.2	87.5	▲37.5	▲16.7	4.5	▲21.8
小売業	▲29.4	58.8	▲50.9	▲37.3	0.0	▲37.2
サービス業	▲15.3	67.3	▲45.1	▲18.4	▲9.1	▲23.1

●業種別の業況・経営上の問題点

製造業	業況：今期は改善し、来期はやや改善となる見通し
経営上の問題点	第1位：原材料価格の上昇 第2位：需要の停滞 第3位：生産設備の不足・老朽化
建設業	業況：今期はやや改善し、来期もやや改善となる見通し
経営上の問題点	第1位：従業員の確保難 第2位：材料価格の上昇 第3位：人件費の増加
小売業	業況：今期はやや改善し、来期もやや改善となる見通し
経営上の問題点	第1位：仕入単価の上昇 第2位：消費者ニーズの変化への対応 第3位：需要の停滞
サービス業	業況：今期は改善し、来期はやや悪化となる見通し
経営上の問題点	第1位：材料等仕入単価の上昇 第2位：利用者ニーズの変化 第3位：店舗施設の狭隘・老朽化

県内景気動向

景気動向 天気図の見方

DI値	100～15.1	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～-100
天気図					
傾向	好転	やや好転	やや悪化	悪化	大幅に悪化

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。

※ DI値（ディフュージョン・インデックス、景気動向指数）

増加（上昇・好転）企業の割合から減少（低下・悪化）企業の割合を差し引いた値を示すもの。